

小学校第4学年 社会科学習指導案

日時 平成26年6月13日(金)第2校時
指導者 教育センター所員 合瀬 一幸

1 単元名 暮らしを守る「事故や事件から暮らしを守る」(東京書籍3・4年下pp.20~31)

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の内容(4)を受け、地域社会における災害及び事故の防止について、関係機関は地域の人々と協力して災害や事故の防止に努めていることや、関係の諸機関が相互に連携して緊急に対処する体制をとっていることを理解するとともに、地域社会の一員として安全な暮らしを守るために協力し、法やきまりを大切にしようとする態度を養うことをねらう。

本小単元では、交通事故や犯罪から人々の安全を守るために、警察の働き(公助)や地域の人々が協力して活動している(共助)の目的や願いについて、自分の生活と関連付けて追究させる。その際、公助や共助だけでは、事故や事件から安全を完全には守りきれないという事実から、法やきまりに着目させることで、自分の安全を自分で守ること(自助)について考えさせる活動を取り入れる。これにより、地域の一員として暮らしを守るために法やきまりを大切にしようとする自覚を促すことになると考える。

- 本学級の児童は、意識調査では、社会科の学習について約7割が見学による本物との出会いがあることや話を聞くことができることを理由に好きと答えている。また、友達の考えが自分の考えをもつ参考になるなどの理由からペアやグループでの学習を好む傾向がある。本単元に関する事前調査によると、ほとんどの児童が遊びに行くときには自転車を使っている。また、半数以上が交通事故に遭ったり、見たりの経験がなく、左右を確認し横断歩道を通ることやヘルメットをかぶって自転車に乗るなど交通安全に気を付けている。これは、日頃から学校や家庭で、交通安全についての話をよく聞き、守ろうとしている姿であると考えられ、法やきまりを守ろうとする意識が高いことがうかがえる。

- 本小単元の学習過程を「つかむ」「調べる」「考え・まとめる」とし、見学や話し合い活動を位置付ける。その中で、児童が警察の働きや地域の人々の活動など社会を知ることやねらう学習問題Ⅰと、児童が学んだことを自分の生活と関連付け、法やきまりについて考えることをねらう学習問題Ⅱを設定する。このような問題解決的な学習を仕組むことで、単元の目標に迫っていきたい。

指導に当たっては、「つかむ」「調べる」過程において、まず、市内や校区内での交通事故の発生件数を提示し、児童の生活経験や予想、疑問を基に学習問題Ⅰ「事故や事件から私たちを守るために、だれがどのようなことをしているのだろう」を設定する。次に、児童の予想を基に、警察官、地域の人々の立場から調べる計画を立て、警察署見学や資料による調査活動を行わせる。その後、調査結果を基に学習問題Ⅱに立ち戻らせながら、警察署の働きや地域の人々の取組の相互の関連について考えさせることにより、公助、共助により、暮らしの安全が守られていることを理解させ、学習問題Ⅰをまとめていく。その際、交通事故の発生件数に立ち戻らせ、警察署の働きや地域の人々の取組だけでは、事故がなくなるという社会的な問題に出会わせる。これにより、対象を児童にとって比較的身近な交通事故に特化し、私たちにできることを考えさせるきっかけとする。その後、自転車の事故事例を基に、自分が交通事故被害者だけではなく、加害者にも成り得ることに気付かせる。さらに、交通事故をなくす方策を話し合わせ、学習問題Ⅱ「〇〇小では、子ども用の自転車運転免許制度をつくるべきか。」を導き出す。「考え・まとめる」過程においては、これを論題に議論させ、意思決定を迫る。これにより、自助についての考えを深めさせ、学習した内容を活用させることで、暮らしの安全を守ることについて、理解を深めさせ、自助の意識を高めさせたい。

3 単元の総括目標

警察署などの関係機関は地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めていることや、関係の諸機関は相互に連携して緊急に対処する体制をとっていること、事故や事件から人々の安全を守るための関係機関の働きやそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解するとともに、自分も地域社会の一員として協力できることに取り組もうとする。

地域社会における事故や事件の防止の諸活動の様子から学習問題を見だし、調査、見学したり資料を活用したりして調べたことを白地図や作品にまとめるとともに、それらが地域の人々の安全を守るために大切であることや、自分が地域社会の一員としてできることを考え、適切に表現する。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
<p>○地域社会における事故や事件から人々の安全を守る諸活動に関心をもち、見学や調査活動を通して安全を守る体制や施設、訓練、点検の様子について意欲的に調べようとしている。</p> <p>○将来自分も地域社会の一員として参画しようとする自覚をもつとともに、今の自分にできることを提案したり生活に生かそうとしていたりしている。</p>	<p>○地域社会における事故や事件から人々の安全を守る諸活動について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</p> <p>○警察署など関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって地域の人々の安全な生活が守られていることを考えたり、安全を守るために私たちにできることを判断したりして、それらを適切に表現している。</p>	<p>○警察署や交番、関連する施設・設備や、地域の人々の協力の様子を観点に基づいて調査、見学したり、資料を活用したりして、地域社会における事故や事件の防止のための諸活動について必要な情報を集めて読み取り、まとめている。</p>	<p>○警察署などの関係機関は地域の人々と協力して交通事故の防止に努めていること、関係の諸機関が相互に連携して緊急に対処する体制をとっていること、事故や事件から人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。</p>

5 単元計画（全10時間 本時 8/10）

過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)	評価(・)評価の観点【】	時配
つかむ	○交通事故の発生件数や自分たちの経験を基に、交通事故が減った原因やそれに関わる立場について予想し、疑問や調べたいことを考える。	○交通事故発生件数の変化について、予想させながら提示することで、事故が減ったことに疑問をもたせ、調査活動への意欲付けをする。	・地域社会における事故や事件から人々の安全を守る諸活動に関心をもち、疑問について意欲的に調べようとしている。【関】	1
	○前時の予想や疑問、調べたいことを基に、学習問題Iを設定し、問題解決に向けた学習計画を立てる。	○前時の予想や疑問を出させ、安全を守る活動に焦点化し、学習問題Iへと導く。	・地域社会における事故や事件から人々の安全を守る諸活動について、学習問題や学習計画を考え表現している。【思】	1
	事故や事件から私たちを守るために、だれがどのようなことをしているのだろう。 (学習問題I)			
	○警察の仕事について調べる。	○事故が起こったときに限定	・関係の諸機関が相互	

調 べ る	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が起こったときに限定して調べ、消防署など関係機関との連携について知る。 	<p>することで、見学で確かめることと調べることを明確にする。</p>	<p>に連携して緊急に対処する体制をとっていることを理解している。 【知】</p>	1
	<p>○警察の仕事について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察署を見学し、調べたことを確かめたり、事件が起こったとき、事故や事件が起こっていないときの仕事やその工夫について調べたりする。 	<p>○確かめたいこと、調べたいことについて、観察したり、質問したりさせることで、調べたことを確認させるとともに、工夫や願いについても調べさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署や交番、関連する施設・設備の様子を観点に基づいて調査、見学して、必要な情報を集めている。 【技】 	1 + (課外)
	<p>○警察の仕事についてまとめ、学習問題Ⅰの解決について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを警察の仕事を場面ごとに出し合い、相互の関連について考え、図にまとめる。 ・地域の人々の取組について調べる観点を明らかにする。 	<p>○調査結果を基に、警察の仕事を場面ごとにまとめさせ、相互の関連について考えさせ、図化していく。</p> <p>○学習問題に立ち戻らせ、地域の人々の取組についての調査活動への意欲付けを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署など関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって地域の人々の安全な生活が守られていることを考え、表現している。 【思】 	1
	<p>○地域の人々の取組について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の取組と思いについて調べる。 	<p>○交通指導員へのインタビューや本、資料を基に調べさせ、工夫や願いへも迫らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の協力の様子を観点に基づいて調査したり、資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取っている。【技】 	1
	<p>○警察の仕事と地域の人々の取組の違いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公助と共助の考えがあることを知る。 	<p>○公助と共助の違いや、協力体制について気付かせるために、警察と地域の人々の働きの違いを考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署など関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって地域の人々の安全な生活が守られていることを考え、表現している。 【思】 	1
	<p>○学習問題Ⅰについて、警察の仕事と地域の人々の取組の関連からまとめる。</p> <p>○事故の原因や自分たちの生活などの資料から、社会的な問題「事故はなくなっていない。」に気付き、自分たちにできることについて考え、学</p>	<p>○前時の学習を基に、図に表していくことで、くらしの安全を守る活動についてまとめる。</p> <p>○学習問題Ⅰのまとめから、認識のずれを引き起こさせるために、事故の原因に目を向けさせ、学習問題Ⅱへと導く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署など関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって安全な生活が守られていることを考えたり、安全を守るために自分にできることを判断したりして、それらを適切に表現 	1 本時 (8/10)

	習問題Ⅱをつくる。		している。 【思】	
	○○小では、子ども用の自転車運転免許制度をつくるべきか。(学習問題Ⅱ)			
考 え ・ ま と め る	○討論会に向けて、自分の考えを補強するための調査活動を行う。	○学習問題Ⅱについて、自分の考えをもたせ、その考えを補強するために、主張、データ、理由付けの視点から、自分の考えを説明させる。	・地域社会における事故や事件の防止のための諸活動について必要な情報を集めて読み取り、自分の考えをまとめている。 【技】	1
	○討論会を行い、単元のまとめとして、自分の考えを総合的にまとめる。 ・学習問題Ⅱについての自分の考え ・これからの自分の生活について	○学習問題Ⅱを論題とし、賛否についての意見を交流させることで、自分の考えを見直させ、これからの自分ができることについて再構成させる。	・将来自分も地域社会の一員として参画しようとする自覚をもつとともに、今の自分にできることを提案したり生活に生かそうとしたりしている。 【関】	1

6 本時の目標

警察署など関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって安全な生活が守られていることを考え、学習問題Ⅱ「○○小では、子どもたち用に自転車運転免許をつくるべきか」について、安全を守るために自分たちにできることを判断し、適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現)

7 展開(全10時間 本時8/10)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 学習問題Ⅰの解決について検討し、本時のめあてをもつ。(学級全体) ・学習問題Ⅰの追究結果を振り返る。 ・学習問題Ⅰの解決には、「私たち」の立場で考える必要があることからめあてを決める。	○ 警察の仕事や地域の人々の取組を説明させることで、これまでの学習を振り返らせ、私たちの安全は警察や地域の人々などの工夫や努力によって守られていることを確認する。 ○ 学習問題Ⅰの予想と照らし合わせ、「警察」「地域の人」は調べ、考えたが、「私たち」が解決していないことを確かめさせ、本時のめあてへと導く。
めあて 警察官や地域の人々と協力して交通事故をなくすために、私たちができることを考えよう。	
2 交通事故発生件数のグラフを基に、事故から私たちを守ることにについて改めて見直し、社会的な問題に出会い、解決に向けて解決すべき原因を考える。(学級全体) 社会的な問題《解決すべき課題》 自転車事故はなくなっていないこと。 自転車に乗っているときに気を付けていることと解決に向けた児童の反応例 ・注意している⇔していない。 →より一層注意する。(心掛け)	○ 交通事故の発生件数のグラフに立ち戻らせ、「警察や地域の人々はこれだけ、がんばられているのに、なぜ、事故はなくなるのか」を問い、交通事故をなくしたいという思いから、社会的な問題に出会わせ、私たちができることへ目を向けさせる。 ○ 交通事故を減らすには、私たちも努力する必要があることに気付かせるために、4年○組での実態調査から4年○組の児童のほとんどが自転車で遊びに行くことが多いこと、そのときにひやりとした経験や注意していることなどを資料として提示し、私たちが自転車に乗っている場合に絞り込んで、原因を考えさせる。

<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守っている⇔守っていない。 →新しいきまりをつくる。 →ルールを破った罰を厳しくする。 (法やきまり) ・気を付けていても事故が起こる。 →事故が起きて、大けがにならないようにする。(自分の身を守る工夫) (小集団(ペア, グループ)・学級全体) 	<p>○解決に向けた反応として、心掛け、ルールについて、一人一人が注意する、罰を重くするというような考えが出るのが予想されるが、その場合は、「みんなで取り組めるか」「本当に事故はなくなるのか」「すでに取り組んでいないか」「どうやって」などの発問をし、より具体性がある解決策を考えさせる。</p>
<p>3 私たちにできることを考える。 (個人・ペア・学級全体) (話し合いの視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に事故が減るだろうか。 (効果があるか) ・本当に、みんなでできることか。 (実現可能性) <p>取り上げていきたい解決策と児童の反応例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりをつくったほうがいい。 ・でも、きまりを守らない人がいるよ。 	<p>○自分が被害者の立場から考えることが多いことが予想される。多面的に考えさせるために、ひやりとした体験を想起させたり、自転車が加害者になった事例を示したりして自分が加害者にも成り得ることに気付かせる。</p> <p>○事故にあっても被害が小さくなる工夫として、ヘルメットをかぶることやより一層注意できるような看板、破ったら厳しい罰があるルールをつくるなどが、反応として考えられる。それぞれの案を称賛しながらも、ルールについての発言を取り上げ、みんなでできることとして、自転車運転免許制度を紹介し学習問題の設定へ導く。発言がない場合は教師の提案として示す。</p>
<p>学習問題Ⅱ ○○小では、子ども用の自転車運転免許制度をつくるべきか。</p>	
<p>4 本時の振り返りとして、学習問題について、現在の自分の考えをワークシートに記述する。(意思決定1) (個人)</p>	<p>○学習問題Ⅱについて、これまで学習したことを基に自分の考えを記述させる。【評価】</p>
<p>5 次時の学習について、確認する。 (学級全体)</p>	<p>○意図的に、賛否の意思決定についてのみ、発表させ、自分の考えを発表できたことを称賛し、他の児童からの「どうして?」、「わたしは○○さんに賛成!」などの発言を取り上げ、次時以降の討論型の学習への意欲付けをする。</p>

8 本時の評価

評価規準	<p>警察署など関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって安全な生活が守られていることを考え、学習問題Ⅱ「○○小では、子ども用の自転車運転免許制度をつくるべきか。」について、安全を守るために自分たちにできることを判断し、適切に表現しているか。 (社会的な思考・判断・表現)</p>		
判断するめやす (判定基準)	十分満足できる状況(A) 学習問題Ⅱについて、これまでの学習の内容と自分なりの理由付けから、意思決定し、記述している。	おおむね満足できる状況(B) 学習問題Ⅱについて、これまでの学習の内容、または自分なりの理由付けから、意思決定し、記述している。	努力を要する状況(C) (B)に達していない記述
→(B), (C)と判断した児童への支援		→どうしてそう考えたのかを詳しく書くように指示する。	→板書を基に、心掛けとルールのどちらを大切にするかを問い、意思決定させる。
評価方法	ワークシートの記述		